

平成 29 年度の重点事項について

本宮市教育大綱（本宮市教育振興基本計画）においては、「つながる共育のまちもとみや」～夢・生きがいの創造と活力を共に育む教育を目指して～を基本理念とし、4つの基本目標を定め、教育行政の推進に取り組んでいる。平成29年度は、教育大綱の主な取組みのうち次の事項について重点的に取り組んでいきたい。

【重点目標】

1. 子どもの主体性や可能性を広げる教育の充実

①読書活動の推進

●図書館ネットワークシステムの活用を図りながら学校図書館を利用しやすいものとするとともに、読み聞かせの充実を図るなど、学校司書と市立図書館との連携により、幼児・児童・生徒の読書意欲の醸成や読書習慣の定着に向けた取組みを進める。（家族読書おすすめ100冊の推進）

②ICT活用能力と情報モラルの育成

●社会の急速な情報化に対応するため、引き続き、ICT機器等の教育環境の維持向上に務めるとともに、教員研修の充実を図りながら、子どもたちの発達段階に応じて、効果的に情報を集めたり、必要な情報を選択して活用したりなどができる情報活用能力の育成に努める。（学習指導要領改訂に向けたICT環境の整備充実）

2. 未来を創造し、生きがいにつながる学習の場の創出

①国内・国際交流事業

●国内の友好都市等と交流することにより、本市と異なる文化や地域性に触れて、視野を広める機会を設ける。さらに、国際的視野の育成と英語コミュニケーション能力の伸長を図るとともに、国際的に活躍する人材を育成するため、海外での体験学習や交流事業について検討する。（全国へそのまち・こども交流事業、平和記念式典への派遣）